

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。

また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (株)ケイシン グループホームたるみず太陽の家
(ユニット名) 1ユニット

所在地 (県・市町村名) 鹿児島県垂水市浜平字高尾ノ下2189-6

記入者名 (管理者) 隈崎 光昭

記入日 平成 20年 9月 14日

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家
 地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人たちが生きてきた歴史の大枠を理解することが、現在を知る事やケアに多いに役立ち、辛かったり、強く生きた時代を受容し、共感でき、それがケアに多いにつながる。		入居時、ご家族・入居者様から十分にお話をお聞きし、家・施設・病院等からの入所に不安を取り除き、私が私らしく入られるよう、又成長したことを認めるケア提供者として取り組んでいます。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営上の方針や目的等に具体化し、介護従事者に日常的に話をしている。		人の当たり前の生活の存在を大切にし、その人の当たり前の日常生活に少しでも近づける為の援助行為を知恵と愛情で行っています。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営理念の啓発、ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう、地域に対する運営理念の啓発・広報に取り組んでいます。		ホーム便り・散歩・GHひまわり苑との慰問交流・柘原小学校との慰問交流・足湯(牛根)・薩摩明治村温泉・地域の奉仕作業。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	気軽に入れる玄関まわり等の配慮。違和感や威圧感を感じさせず、入居者様やご家族が入りやすく、近隣の住民も尋ねやすいよう、玄関まわりや建物も周囲に、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしています。		玄関まわりにプランターに季節の花を植え、裏庭には季節の野菜作りをしています。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	周辺施設等の理解・協力への働きかけ、入居者様の生活の安定や拡がりの為に、周辺地域の諸施設から協力を得ることができるよう、理解を拡げる働きかけを行っています。		浜平市営住宅・ももや(果物店)・福祉施設・警察署(垂水幹部派出所)・消防署(垂水消防署本部)・垂水市市役所・真宗寺・柘原小学校・田原柘原公民館館長の方々との交流に努めています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の人たちとの交流の促進、地域の人たちが遊びに来たり立ち寄ってくれたりするよう取り組んでいきたい。		柘原公民館館長田原さんと、お話を頂き9月23日地区社会体育大会参加、12月上旬公民館でしめ縄作りに参加させて頂き地域のお年寄りとの交流を図り、少しでもお役にたてればと取り組んでいきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	密室性が高く入居者様保護の観点から、サービスの質の確保が課題とされます。サービスの目標水準を引き上げようとする中で、一連の評価作業を主体的に取り組み、評価結果をもとに具体的な改善や情報公開などに図る事を目的とします。		自己評価及び外部評価を、受けさせて頂くのは、初めてで一年間職員一同、悩み考え行動を起こしました。入居者様の思いに応えるべく、今後の具体的な改善に取り組んでいきます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に1回開催を行っています。		運営推進会議議事録を玄関掲示板に掲示しています。又職員と運営推進会議委員のご意見をサービス向上にいかしています。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護福祉課の担当者とは、指導監査を通じてお話をさせて頂いています。		市政便りに、GHの紹介をして頂きました。GHでの医療行為について解答いただきました。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	認知症の高齢者について、新ゴールドプラン(高齢者保険福祉推進10か年戦略の見直しについて)(平成6年12月の大蔵・厚生・自治3大臣合意)以降もちいられました。成年後見制度の必要性 身体拘束の原則禁止 契約方式のもとの利用者保護 「身近な人間による権利侵害」(高齢者虐待)		毎月1回、身体拘束廃止委員会を開き、身体拘束状況・身体拘束管理表をもとに、話しをもっています。成年後見制度の必要性・身近な人間による権利侵害を話し合う。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	厚生労働省の「身体拘束ゼロ作戦推進会議」を受け、認知症対応型共同生活介護事業「GHたるみず太陽の家」では、身体拘束廃止委員会を設立し、身体拘束の実施状況を定期的に点検し、身体拘束廃止に向けて取り組む努力をしています。		毎月1回、身体拘束廃止委員会を開き、身体拘束状況・身体拘束管理表をもとに、話しをもっています。又玄関掲示板に掲示しています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者様の決定のための検討、GHに適しているか、十分に検討しています。(訪問・介護保険被保険者証・診断書・入居申請にいたる経過生活や対人関係・入居者様、ご家族の希望) 退居の支援、退居は、契約に基づくと共に、その決定過程を明確にしています。また、入居者様、ご家族に十分な説明を行っています。</p>	<p>入所・退所に関わらず、入居者様の気持ちを一番に考え叶えています。又入居者様・ご家族からの言葉を宝物としていきます。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様の不安・願い事に、職員一同で取り組んでいます。入居者様が、自宅へ電話したいと言うと、電話して頂きます。十分な入居者様と会話の時間を取っています。</p>	<p>玄関に鍵をかけない工夫、入居者様の自由な暮らしを支え、入居者様やご家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵を掛けなくてすむような配慮をしています。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月の便り・毎月の入居者様行事等の写真をお配りしています。又健康状態・金銭管理・職員の異動等は、頻繁にご家族の面会があり、そのつどお話をさせて頂いています。病院受診は、ご家族の方々が一緒に受診して下さいます。感謝しています。</p>	<p>健康状態は些細な事でも報告を受けています。その度話し合いを持ち検討ご家族への連絡を欠かさず行っていきたく思います。ご家族に連絡している時と、していない時があり徹底したいです。緊急の際は施設側から受診しています。金銭管理は、残高が少なくなってきた時電話や面会時にご連絡させて頂き、又ご家族からのお尋ねもあります。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関口に苦情・相談箱を設置しています。苦情処理ファイルを作成しています。又相談・苦情申し出についての書面表示を玄関口に掲示しています。</p>	<p>苦情・相談を財産としています。苦情ファイルに記入し、職員で話し合いをもっていますが、十分な時間を取っているかという取っていないと思う。今後は、十分な時間を確保し話し合いを持ちたいです。施設の財産と考えるからです。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月ミーティングを第4週の木曜日に行っています。その際、職員に発言の時間を設けています。又ミーティングに関係なく、職員からの提案・要望・改善策は、聞き話し合っています。</p>	<p>職員の提案事項は、やってみて改善策の有・無は、検討しあい反映しています。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>毎月勤務表作成時、前もって職員から休み希望聞き取りを行っています。急きょ変更がある際は、連絡をとり十分な話し合いを行い、勤務の調整に努めています。</p>	<p>急きょ勤務の調整を行う際は、前もって休み希望を重視しながら職員とやり取りを行っています。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>勤務前に何度かGHを訪問し、入居者様の方をなじみの関係を作るよう努める。</p>	<p>特別な理由がない限り、なるべく異動のない職場環境と運営方針を確立する。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTを通じて介護技術向上を図り、法事外研修を通じて介護の理念向上を図る。	法人内部から講師を選出する等、法人内研修を充実させたい。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣GHとの交流や、大隅地区GH連絡協議会への加盟。	認知症サポーター研修等の呼びかけを通じて地域ケアの推進。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	インターフェースの機会を通じて、意思疎通を活性化させる。	定期的な親睦会の設定等を通じて、風通しのよい職場環境づくりをしたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者やケアマネは、出来るだけ生え抜きの方を選出する。	異動できる職場を創出し、法人内部での人事異動による職場環境改善等を可能にしたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者様から何でも不安は、何時でも聴く機会を作っています。不安に思っていることは、その場で解消しています。	不安事を聴きいれ、ご家族と連絡取り合い取り除いています。又ご家族と入居者様の会話を大切にしています。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居に際し、ご家族からの要望・質問に時間の許す限り聴く機会を作っています。又GHの趣旨を伝え、理解を頂く事にしています。	些細な事でも、ご連絡し確認とっています。又当施設は、安心・安全な所と確認頂き入居者様にお話し頂いています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族の相談を受け入れ、一緒に支援の方法をとり回しています。</p>		<p>身体の状態・嗜好品等を十分にお聴きし、支援させて頂いています。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>居室に馴染み物、本人が日頃使っている物を持ち込んで頂き雰囲気作りさせて頂き、ご家族と他の入居者様と会話を取りいれながら、本人も自然と徐々に馴染めるように時間を掛け、ご家族と相談しながら工夫しています。</p>		<p>入居者様同士、自己紹介を交えながらお話しする場を作りながら、徐々に馴染んで頂けるようにご家族からの助言も頂いています。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者様と一緒に食事作り・洗濯物干し・洗濯物たたみ・掃除・畑作業・買い物・居室の片付け・お皿洗い等、しながら入居者様の知恵を頂いています。時間の許す限り、入居者様と話す時間をとっています。</p>		<p>入居者様一人ひとりにあった、お手伝いをして下さいます。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の本人への思いを十分くみとり、ご家族と一緒に考え話し合いをとっています。</p>		<p>本人らしく生活して頂くことをご家族と話し合い、その人の当たり前の日常生活に近づけるための援助行為を知恵と愛情で具体的な結晶と取り組んでいます。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>面会・外出・外泊に規制は、設けていません。ご家族の方々には、頻りに面会に来て頂いています。外出も頻りにあり、外食・病院受診など通じて、ご家族と過ごされる時間をとって頂いています。面会時間の規制も設けていません。21時過ぎの面会もあります。</p>		<p>ご家族から要望があれば、すぐ対応させて頂いています。外出は何時でも本人の健康状態に異常がない限り、職員に委ねています。外泊は管理者の許可にて行っています。面会の時間制限はありません。野外レクは、便りでご連絡させて頂いています。又外出する際は玄関に外出の掲示をし連絡先も一緒に掲示しています。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>墓参り・自宅への帰宅・買い物を通じて、知り合いや馴染みの場所へ出来るだけ行くようにしています。</p>		<p>ご家族と一緒にいられる時と、職員と一緒にいられる時もあります。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者様同士のコミュニケーションの取りかたとして、孤立しないように職員が、お一人おひとりの健康状態を確認しながら心配りを欠かさず、会話・レクリエーションを通して関わり合いの支援に努めています。</p>		<p>入居者様お一人おひとりに、行き帰りにも声掛けは忘れず、今日一日お世話させて頂いた事の感謝の念を持って取り組んでいます。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	本人と、ご家族を含めお話しています。		退所時に、ご縁があったら又御願いますとご家族から、お話しはあります。その後連絡は取り合っておりません。連絡を取り合うように取り組んでいきたい。
. その人らしく暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様お一人おひとりの生活のリズムを崩さないよう十分な配慮をとっている。又本人の訴えにも即対応出来るよう支援しています。		起床時後の洋服選びから、就寝前のパジャマまで入居者様の、決定に委ねています。又決定を委ねられた入居者様には、一緒に検討し決定しています。常に声掛けを忘れずに行っています。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前ご家族・本人からお話を聞き、十分な聞き取り後に入所後は、馴染みな物入所前の生活環境を取り入れています。		ご家族・本人からの要望を取り入れながら、サービスの土台としています。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	夜勤者からの申し送りを聞き、問題点を話し合っています。その後バイタルチェック身体の観察声掛け会話で、普段と変化はないか観察しています。歩行の確認も欠かさず行っています。		日勤者は夜勤者から申し送りを聞き、夜勤者は日勤者から前日の夜勤者からも申し送りと本日の日勤者の申し送りを聞き問題点を話し合い、管理者・ケアマネージャーに連絡取り合い指示を仰ぎ職員同じサービスを行っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	チームケアのための会議、チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、すべての職員で、定期的に会議を開催し、活発な意見交換を行い、介護計画の職員での共有介護計画し、介護計画への入居者様・ご家族の意見の反映介護計画を、入居者様やご家族と共に相談しながら作成しています。		職員会議を定期的に行い問題点を話し合い、本人の希望する事・悩んでいる事をご家族にお話しし、ご意見を聞き反映介護計画を作成しています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直し介護計画に実施期間を明示して、その期間が終了する際に見直しを行うことはもとより、状態変化に応じた随時の見直しを行っています。		ご家族、必要な関係機関と話し合いが、十分に取れていません。連絡を十分取り合って、今後のサービス提供が出来るように取り組んでいきたいです。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録・日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者様お一人おひとりの特徴や変化を具体的に記録しています。		確実の申し送り・情報伝達、職員の申し送りや情報伝達を確実に行い、重要な点はすべての職員に伝わるように連絡ノートに記入し職員のサイン御願ひしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	天井が高い室内で、開放感を出し、入居者様が動きやすい環境作りで、室内には殆ど物は置かず、窓の外には、ベンチ付きのテラスを設けて、庭には小さいながらも畑に季節の野菜・花を入居者様と一緒に作っています。		施設は無く、入居者様が玄関・テラスへと自由に往来出来るようにしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	19年12月・20年2月防災訓練、20年9月心配蘇生講習、19年10月みかん狩り、19年10月・20年1月・8月散髪、19年10月敬心保育園運動会、19年11月・20年5月温泉、20年1月・5月足湯、19年12月GHひまわり宛慰問交流・20年GHひまわり宛へ慰問、20年2月認知症セミナー、20年2月いちご狩り終原小へ慰問、3月終原小卒業式見学。		終原公民館館長田原さんと連絡取り合い、21年度終原高齢者学級に参加を取り組みたい。警察署へ交通安全講習を御願ひする。民生委員の女性部会長内藤さんに連絡取り、GHの年間行事にボランティア参加を御願ひしていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	GHひまわり宛とH19年12月・H20年4月慰問交流行い、入居者様同士・職員同士の意見交換を行い、有意義な時間を過ごせました。		集団指導等で意見交換をしていきます。又GHひまわり宛さん以外の施設の方々との交流も図っていききたいと思います。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの意見交換は、入居者様の総合的な面から今は必要性が無く行っていません。		今後は、本人の意向や必要性に応じて、地域包括支援センターと協働していきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診の際、ご家族に本人の状態をお伝えし受診して頂いています。又職員も付き添うこともあります。その際本人・ご家族を交えかかりつけ医師とお話しさせて頂いています。		入居者様の排便管理に、医師の指示を頂いています。カリウムの高い入居者様・大腸がん手術と腸へんそくの入居者様などの排便管理に医師の指示を仰ぎながら取り組んでいます。また他の入居者様も同様医師とお話しています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	桜ヶ丘病院(鹿屋市)へ受診の際、不穏改善の相談で詳しくお話を頂き処方箋で改善しています。		ご家族と本人の症状を、話し合いご家族が必要と認識され、一緒に初回は必ず同行させて頂き必要があれば、病院受診を同行しています。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	病院受診の際、入居者様をよく知る看護師とお話させて頂いています。		毎回病院受診して下さる、ご家族もあります。今後、地域の看護職の方々と意見交換が出来るよう、病院受診同行をしていきたい。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際、同行もしくは面会で本人・ご家族と意見交換・病院関係者との情報交換や相談に努めています。又面会も欠かさず行っています。入院した場合、早期退院のための話し合いや協力を医療機関に行っています。		入居者様の健康状態には、十分気をつけています。職員同士で情報交換を欠かさず、些細な事でも連絡を怠らないように徹底していきたい。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期のありかたについては、入居者様お元気でご家族の方々との会話でも話題にならず、お話していません。		年齢と共に、全身の細胞が減少し、それに伴い各臓器が萎縮を始め、身体部位の機能が低下していく事を話し合いながら、重度化・終末期あり方に話し合っていくことを取り組んでいきたい。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期の入居者様が、今いないのですが今後の入居者様の健康状態いかなでは、検討や準備行っていかなければならないと考えていますが、取り組んでいません。		重度・終末期の入居者様を、事業所の「できること・できないこと」を職員で話し合っていく。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退所前、入居者様・ご家族と十分な話し合いの場を設け、納得頂いています。		言葉使いには、十分な配慮・気配りをしています。しかし配慮・気配りが足りてないのでしょうか。日々勉強中です。今後もご家族・入居者様に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えのダメージを防ぐ事に、取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様への、プライバシーを損ねる言葉遣いや対応はしていません。	入居者様のプライドを傷つけない言葉遣い、対応も十分配慮しています。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	起床後の服選び・髪型等自己決定される入居者様もあり、支援させて頂いている入居者様もあります。その都度、説明させて頂いています。買い物でも、一緒に外出時入居者様は、食べたい物をかごに入れられながら、相談すると入らない物・必要な物の区別をされています。	買い物一つ取っても、入居者様同士お喋りされながら店内を自由に買い物かごを持たれて買い物を楽しまれています。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様中心で、支援を行っています。又お一人おひとりの支援を欠かさず、日々の生活に変化を取り入れています。	健康状態を確認しながら、食事作り・洗濯物干し・洗濯物たたみ・掃除・お皿洗いなど入居者様のお手伝いを頂いています。昼食後は、1時間～2時間程昼寝取り入れています。
(2) その人らしく暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	服選びは、入居者様本人が決めます。決められない際は、職員と一緒に手伝いさせて頂いています。理容・美容は入居者様が希望される理容・美容へご家族と一緒にいける方もいらっしゃいます。望む店のない方は、施設で、美容師に出張させて頂いています。	理容・美容は、鳥原美容院(32-3481) 料金 1000円でして頂いています。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で栽培している野菜等を中心に、入居者様に収穫して頂き買い物も出来るだけ一緒に出かけ、料理も包丁を使って下さいます。又味付けもして下さい。後片付けも出来る方は、手伝って下さいます。お皿洗いも一緒に手伝って下さいます。	入居者様が出来る事は、健康状態のもと御願ひしています。又気の進まない入居者様には、さりげなくながしています。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者様の嗜好は、ご家族と確認をとり、ご家族が買って来られたり入居者様と一緒に買い物に行きます。本人とご家族の希望に沿えるように努めています。又病院からの指示もありその際は、ご家族と話し合っています。	入居者様の嗜好は、お一人おひとりご家族からの要望があり、牛乳・スポーツ飲料・乳製品・果物・パン・飴・菓子類など食事時間・お茶時間・夕食後ソファでくつろいでいる時など本人に合わせて支援しています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	独歩な入居者様には、自己管理を促しながらも、見守りはかかさないようにしています。車椅子・シルバーカー使用の入居者様には、お茶時間前後・食事時間前後の声掛けや本人の訴えや拳動不振の行動を見逃さず、声掛けを行っています。		リハビリパンツ使用の入居者様のシューズ・トランクスへの変更をご家族・職員で話し合い、自立に向けた介護を確立しました。しかし尿取りパットを使用しながら、汚れたり・失禁の際の交換する事の原因を十分お話し見守りで交換を促し、さりげなく介助させて頂いています。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、基本的に毎週月曜日・水曜日・金曜日週3回実施しています。行事や入居者様の健康状態に変更することもあります。又曜日関係なく、入浴希望される方、畑仕事で汗をかかれた際も入浴もしくは、シャワー浴を促しています。		入浴日を、入居者様の方々も楽しみにされています。入浴日を分かっている入居者様もおられ、入居者様同士で入浴して頂く仲の良い雰囲気の中で、楽しんでいます。職員は見守る形で入居者様の気持ちを大切にしています。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後の昼寝時間をもうけています。居室でお昼寝される方、ソファでお昼寝される方と本人が気持ちよくお昼寝出来る様支援しています。又夕食後の就寝は、居室でくつろぐ方、ソファでテレビを観ながら入居者様同士お喋りされながら過ごされ、20時前後には、「又明日なおやすみ」と声を掛け合いながら居室へ休まれています。		入居者様の健康状態を観察させて頂きながら、声掛けを行い入居者様の気持ちを最優先しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り・畑仕事・歩行訓練・人の世話といった入居者様同士で、お手伝いして下さいます。職員は、入居者様の意見を尊重し一緒に取り組んでいます。		入居者様の健康状態を観察させて頂き、食事作りは、包丁・皮むき使い材料切りまでして下さい。畑作りは、肥料のまき方やむね作り種まきなど、収穫まで一緒に取り組んでいます。朝・夕の水掛けもして頂いています。歩行訓練は、毎日シルバーカーを押しながらホール内歩行訓練されています。又散歩をかねて歩行訓練して下さい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族とお話しさせていただき、1000円～2000円本人が持つ事を支援されているご家族もおられます。又こづかい帳をお一人おひとり帳簿作成しご家族から、10,000円お預かりしています。		買い物へ行った際、買い物して頂き支払いの際本人のこづかい袋を手渡ししお支払い頂いています。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関の鍵掛け、ベランダへの出入り口の施錠もせず、自由に戸外へ出れるようしています。又庭に小さいながらも畑を作っています。入居者様自由にいられています。		テラスにベンチを置き、庭には芝を植え畑には季節の野菜や花を入居者様と一緒に手作りさせて頂いています。自然と入居者様が外に出るようになり職員は、見守り一緒に時間を過ごしています。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月行事計画を立てています。ご家族の方々と外出・外泊もされています。		季節感を感じて頂けるように、野外レクを行い出かける機会をつくっています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様から電話掛けたい訴えがあった際、拒まず電話つないでいます。ご家族からもお電話頂き本人とお話して頂いています。		入居者様とご家族に十分お話しして頂けます様に、入居者様には椅子に腰掛けて頂きご家族の時間の許す限りお話し頂けるよう取り組んでいます。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・知人・友人等本人の馴染みの人たちが訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っています。		施設に来やすい雰囲気・歓迎・湯茶の自由利用・居室への宿泊のしやすさ等を、訪問にお越し頂いた方々に見て頂いています。次回も来て頂ける雰囲気作りをしています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアの実践身体拘束は、行わないということをすべての職員が正しく認識しており、身体拘束のないケアを実践しています。毎月身体拘束廃止委員会をもち、記録に残しています。		入居者様お一人おひとりの身体拘束に関し、話し合いをもち身体拘束防止に取り組んでいます。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けない工夫として、入居者様の自由な暮らしを支え、入居者様やご家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてすむような配慮をしています。		外出の察知では、一緒に外へ散歩しながらお喋りをしながら落ち着いた後帰苑し、お手伝いを御願ひしています。洗濯干しや洗濯物たたみ、食事作りのお手伝い、入居者様同士の会話、ご家族と電話でお話しと、気をまぎらわせるよう取り組んでいます。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	当施設は、360度見渡せる造りをしています。入居者様の行動は、職員一同気配り、目配り、声掛けを欠かさず入居者様お一人おひとりの場所を把握しています。		声掛けを欠かさず、入居者様の自己決定を尊重しながらその人らしい生活を応援できるよう取り組んでいます。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬や洗剤、刃物等の注意の必要な物品については、保管場所、管理方法等を明確に取り決め、かつ、そのとおりに実行しています。		薬は、看護師を中心に処方箋のもと、医師の指示を頂きながら事務所で管理しています。洗剤については、脱衣所の引き出しで管理しています。又入居者様本人が、洗濯される方もいらっしゃいます。その際は、職員と洗剤の使用は、一緒に行っています。刃物等については、台所で管理をしています。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティング・防災訓練・心肺蘇生講習の際、看護師・消防士・救急救命士の方から、講習を受けています。		毎日日勤者・夜勤者の申し送りを行っています。問題点等話し合い、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいます。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	防災訓練・心肺蘇生講習を行い職員の技術の向上に努めています。		防災訓練・心肺蘇生講習は行っていますが、毎月ミーティング行っていますので、その際自己防災訓練・心肺蘇生講習行っていきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者様が動きやすい環境を作るために、室内にはあまり物は置かず、常に非難通路を確保しています。		先日垂水に竜巻が発生しました。当施設の近くで発生しました。すぐ垂水市は対応して下さいました。消防署・警察・電力会社・市役所・民生委員・近隣の方々が対応して下さいました。感謝いたしています。今後も協力頂けるようしていきたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族に、入居者様の暮らしぶりや日常の様子を定期的に伝え、ご家族が気がかりな事や、意見・希望を職員に気軽に伝えたり相談したりできるように、面会時の声掛け、定期的連絡等を行っています。		入居者様が今日一日一日を、精一杯生き、悔いを残さない生活支援をご家族と共に取り組んでいきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送りを始め、身体の観察・体調・発語に十分気をつけ体調の変化や異変には、管理者・看護師の指示を得て、緊急の際は病院受診が出来る体制をとっています。		普段と変わらない状態と思わず、身体の動き・発語・手足の確認等を職員は、一人ひとりさりげなく確認するようにしています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、入居者様が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており、入居者様お一人おひとりが医師の指示どおり服用できるよう支援し、症状の確認をしています。		看護師を中心に薬の目的・副作用等を確認しています。職員と情報交換を常にとっています。緊急の際、病院受診が取れる体制をとっています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	施設内での、歩行訓練は、毎日欠かさず行っています。食事は、食物繊維を中心に薄味で塩分控えめに調理職員一同行っています。		医師の指示で、便秘薬処方がある入居者様には、入眠前服用して頂き、排便コントロールさせて頂いています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時・毎食後・入眠前口腔ケア、義歯洗浄(夜間)職員の見守りで行っています。		入居者様の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないよう、歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェックも忘れずに行っています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	施設内での、歩行訓練・散歩・水分補給・水分チェック表を作成し、水分量職員同士確認しあっています。食事は、食物繊維を主体に、薄味で主食の量も毎食測り食して頂いています。		入居者様お一人おひとりの摂取カロリーや水分摂取量、栄養バランスを、一日全体を通じておおよそ把握するよう取り組んでいきたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは、協力医院で処置して頂きました。集団指導で、感染対策マニュアルを市役所保険福祉課から頂き、職員の勉強会を行いました。		感染症マニュアル用のフロッピー作成し、感染症に関する書類を綴じいつでも、閲覧出来るようにし玄関先には、マスク・消毒液を随時置いています。再度職員・ご家族・入居者様にも、外部からお越しいただく際は手の消毒をして頂くようお願いしたい。再度勉強会を行う。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ホーム内の清潔や衛生を保持しています。食品・布巾・包丁・まな板・冷蔵庫・洗濯機・トイレ・手すり等。		物品除菌管理表・布団干し実施表・リネン洗濯実施表を作成し管理しています。食品は、毎日買い出し、調理しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気軽に入れる玄関周り等の配置。違和感や威圧感を感じさせず、入居者様やご家族が入りやすく、近隣の住民も尋ねやすいよう、玄関周りに季節の花を置き、親しみやすい表札を玄関フェンスコンクリートに掘り込んでいます。		毎朝玄関掃除、玄関のガラス拭きを欠かさず建物の入り口から、プランターに季節の花を植え、玄関先にも花をそえています。道路沿いには、看板も設置し建物の前にも看板を設置しています。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音の大きさや光の強さに対する配慮。入居者様が落ち着いて暮らせるように、音の大きさや光の強さに配慮しています。		テレビ・職員の会話のトーン・照明の強度・まぶしさ・日差しなど又、季節感を出す為に、ホール内の壁を使い季節の張り物をしています。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中に、ソファ・食卓・テラスのベンチ・居室を自由に行き来できるように支援しています。又気のあった入居者様同士で自由に過ごせるよう支援しています。		ホール内は、物をあまり置かず自由に入居者様が、動けるようにしています。

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みな物入居者様お一人おひとりが使い慣れたものや位牌・写真・雑誌・ぬいぐるみ・布団等を持参して頂いています。		居室入り口には、入居者様のお名前をかかげています。又タンスの引き出しには、何が入っているかの表示もさせて頂いています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になる臭いや空気のとどみがないように、24時間換気を行っています。又冷暖房の温度調整は、ホール内温度・湿度時間記入帳を作り、10時・15時・18時・21時毎日管理しています。		ホール・居室共に24時間換気しています。又夏場の冷房では、27度ドライを行いました。居室の夜間は、3時間ほどタイマーを使い27度ドライにしました。入居者様どなたも体調崩される事はありませんでした。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体機能の低下を補う配慮入居者様の身体機能の低下にあわせて、安全かつ出来るだけ自立した生活を送れるようにするために、フローリングの強化・要所への手すりの設備・浴槽・便座・流し台等の使い勝手・物干し等の高さの調整をしています。		入居者様が使いやすいように、歩きやすいように支援させて頂いています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	見やすく、馴染みやすい時計や暦を、目に付くところに設置しています。又入居者様の活動意欲を触発する馴染みの物品を用意し、本人の経験や状況に応じて、園芸用品・裁縫道具・ほうきなど提供させて頂いています。		畑仕事では、くわを使われ農作業を手伝って下さいます。裁縫道具では、雑巾縫いを手伝って下さいます。玄関掃除は、ほうきと塵取りを使って掃除をして下さいます。ホール内では、掃除機を使いホール・居室の掃除を手伝って下さいます。毎食後、お皿洗いを手伝って下さいます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	職員の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者様が自由に自分のペースを保ちながら、ベランダへ出られベンチに腰下ろされくつろいで頂いています。庭には芝も植えてあり、芝生の上を裸足で歩かれます。時間関係なく、小さいながらも畑に出られ、野菜の発育をみられます。		入居者様のペースに合わせ支援させて頂いています。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

鹿児島県 グループホームたるみず太陽の家

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様の、思いを叶えたく私たち職員は、この一年間取り組んできました。日々毎日が勉強でした。悩み・苦しみ・嘆き、ほんろうさせられる日々でした。入居者様・ご家族・各医療関係・市役所・近隣の住民・職員、一丸となってチームとして、何が出来たのか振り返ってみると、走馬灯のように思い出が頭の中を、駆け巡りますが、所詮私たち職員の自己満足に過ぎないのかもしれないかもしれません。私たちは、介護はどうあるべきか？常に考えて行動を起こしていますが、答えが見つかりません。今日を精一杯生きる。明日はどうかかわからない、入居者様の健康状態を管理させていただきながら、今日しかない今を一生懸命生きよう、入居者様の笑顔が、私たちの財産です。笑顔を見るために職員一同、自分に出来る事を考え行動に移しています。今回外部評価の場を作っていただいた事に感謝しています。是非ご指導御願ひいたします。